

卓越関連事業の「教育研究等への効果」の重点的な評価について（案）

1. 概要

- 国立大学法人等施設整備事業の評価・選定に当たっては、施設検討会（第3回）の議論を踏まえ、平成22年度概算要求から、より一層の透明性・客観性を確保する観点から、①事務局が作成した事業評価（案）に対し、全体的な評価の検討をいただくとともに、②卓越した研究拠点の整備事業の「教育研究等への効果」について、国立大学法人等施設整備に関する検討会委員（以下、委員という。）による重点的な評価を行う（※事務局が作成した事業評価（案）の考え方は別紙1のとおり。）。
- 委員は、平成22年度国立大学法人等施設整備方針等を踏まえつつ、個別事業評価シート、補足説明資料及び事業概要書の内容を確認した上で、平成22年度に国として支援することが必要と思われる事業、事務局による評価の判定が不相当と思われる事業について、別紙2のコメントシートに記入する。

2. 対象事業

卓越した研究拠点の整備事業	計	88事業
(1) 世界水準の独創的・先端的研究拠点の整備に係る事業		: 78事業
(2) 地域・社会との連携協力を推進する研究拠点の整備に係る事業		: 10事業
※ 基幹・環境整備6事業を除く。		

3. 評価のスケジュール（案）

7月22日～8月5日	各委員による重点的な評価の実施、事務局へコメントペーパーの提出
8月5日～12日	事務局において各委員の意見を調整、各委員に照会（※同一事業について複数の委員から評価が分かれるコメントがあった場合に必要に応じて施設検討会を持ち回り開催）
8月18日	国立大学法人等施設整備に関する検討会開催

【備考】利害関係者の排除

評価の実施に当たっては、施設検討会の運営規則に基づき、利害関係のある法人の事業について、委員は評価に関する説明や議論を行わないとともに、コメントシートへの記入は行わないこととする。

事務局による「教育研究等への効果」に係る事業評価（案）の考え方

- 第3回施設検討会では承された「平成22年度国立大学法人等施設整備の事業評価等について」に基づき、事務局において、下表の評価基準により、卓越した研究拠点の整備事業の「教育研究等への効果」に係る事業評価を実施。

個別事業に関する評価基準（関連部分抜粋）

評価項目		評価	a	b	c
5. 教育研究等への効果			視点①又は②が「a」	視点①及び②が「b」	視点①又は②が「c」
視点	① 当該事業において見込まれる 具体的成果・効果		期待される	概ね期待される	不十分
	② 具体的な教育研究等の実績		妥当である	概ね妥当である	妥当でない

（参考）総合評価は、本評価項目以外の評価が「a」以上であっても、本項目の評価が「b」又は「c」である場合、それ以下の評価となる仕組み。

- 具体的には、事業要求に当たって、各法人が個別事業評価シート及び補足説明資料等において、十分に説明がなされているかどうかを判断基準とし、以下の評価を実施。

① 当該事業において見込まれる具体的成果・効果

- ◇ 「期待される」の事例：高度な教育研究に対応した研究室・設備等の集約配置や大型設備の設置スペースの確保など、当該事業により、今後の教育研究ニーズに対応し、更なる成果が創出される見込みがあるなど、具体的な効果の記載がある場合
- ◇ 「概ね期待される」の事例：老朽再生等の観点に留まるなど、抽象的・不明確な効果の記載がある場合
- ◇ 「不十分」の事例：効果に係る記載がない場合（→該当なし）

② 具体的な教育研究等の実績

- ◇ 「期待される」の事例
 - （世界水準の独創的・先端的研究拠点の整備に係る事業の場合）
 - 大型の競争的研究資金や大学改革推進等補助金、独法や他省庁の委託研究、国際的な共同研究や受賞歴等の実績がある場合
 - （地域・社会との連携協力を推進する研究拠点の整備に係る事業の場合）
 - 共同研究や受託研究、特許取得や商品化等の実績が複数ある場合
- ◇ 「概ね期待される」の事例：上記以外の実績がある場合
- ◇ 「不十分」の事例：実績に係る記載がない場合（→該当なし）

コメントシート（記入例）

委員名 霞ヶ関 一郎

法人名	国立大学法人 A 大学
事業番号	卓越－卓越 3－1
事業名	総合研究棟改修（旧 B 学部 C 号館）
<p>コメント</p> <p>※平成 22 年度に国として支援することが必要と思われる事項や事務局が作成した評価（案）の判定が不相当と思われる事業について、コメントして下さい。</p> <p>（例 1）本事業は、我が国が〇〇技術の開発を戦略的に推進していくため、〇〇装置の設置や研究機能の集約、若手研究者のための研究スペースを創出する上で必要不可欠な事業であり、H 2 2 に確実に措置されるべき。</p> <p>（例 2）本学は、我が国が優位性をもつ〇〇技術の開発を目指し、地元企業との連携による〇〇の役割分担の下、技術開発を推進しており、本事業はこれに必要な大型設備の設置を要するとともに、将来の人材育成を目指すものであり、重要性が高いことから早急に予算化すべき。</p>	

コメントシート

委員名

法人名	
事業番号	
事業名	
<p>コメント</p>	